

第71回イノベーション交流分科会議事録

「技術革新中長期ビジョンと『モビリティ変革』の実現」

1. 日時：2017年12月8日（金）18時から20時
2. 場所：JR 東日本本社 1806 会議室
3. 参加者：16名
4. 講師：中川 剛志 氏（東日本旅客鉄道株式会社 総合企画本部 技術企画部 次長）
5. 内容：（要約）参考資料①「技術革新中長期ビジョン」の策定、②技術革新中長期ビジョンと「モビリティ革命」の実現」

① JR 東日本と研究開発センター

- ・ J A R 東日本概要（1710 万人／日、69 線区、1678 駅、社員数 5.9 万人）
- ・ J R 東日本研究開発センター 2001 年発足した組織、取組み（安全／エネルギー・環境／I C T 応用／新幹線高速化）

②技術革新中長期ビジョン

- ・ 技術革新の方向性
安全／安心（危険予測とリスク最少）、サービス&マーケティング（お客への価値提供）、オペレーション&メンテナンス（生産年齢減少下の仕事の仕組み）、エネルギー／環境（エネルギーマネジメントの確立）

③具体的な取り組み

- 3-1. メンテナンスの革新（スマートメンテナンスデータによる検知、分析、意思決定、実施、評価のサイクルの重要性）例：ドア故障検知、線路設備のモニタリング装置、電力設備のモニタリング装置、A I によるパターン認識等）
- 3-2. 顧客サービス（情報提供アプリ、山手線トレインネット（電波ビーコンによる社内情報提供）、運行状況の可視化、次世代新幹線等）
- 3-3. A I とロボット開発（A I 活用と実証実験（コールセンターやお客様案内等）、ロボット技術開発（ロボットフレンドリーステーション）、自律移動ロボット等）
- 3-4. モビリティ革命（サービスとしてのモビリティ（M a a S）への変貌、あらゆる既存の交通インフラ、サービス、情報、決済サービス統合によるワンストップシームレス、フレキシビリティなサービス提供、S T T T モデルトータル移動時間短縮モデル、クラウドシステムプラットフォーム（データの再構築、*モビリティ変革の場の創出）

*モビリティ変革コンソーシアム

- ①D o o r t o D o o r 推進WG
- ②スマートシティーWG
- ③ロボット活用WG

(その他の取組として、ハッカソン等の開催ーベルリンの U バーン (地下鉄) の Jannowitzbrücke という駅にある DB mindbox という施設でのオープンコミュニティーとの交流の場、課題解決、発表会等)

④ 質疑と課題

1. データ連携→プラットフォーム
2. 組織の創造性向上
3. 高齢者対応 (介護移動ロボット等)
4. コンパクトシティー等を含めて地元地域との連携強化等

以上 (文責: 旭岡叡峻)